



町外の専門医療機関での 検診も検討する考えは

内田精彦 議員

副町長 受診しやすい環境、また検診料等を
考慮の上検討する



問 平成22年度と23年度における奥出雲町のがん死亡者数は、

答 内田健康づくり推進課長
平成22年度71人、平成23年度70人で、死亡率のトップである。

問 子宮がん検診で町外医療機関の、松江生協病院ふれあい診療所、あさひまちクリニックでの検診者数は、また、どのような経緯でこの2カ所が指定されたか。

答 内田健康づくり推進課長
あさひまちクリニック2名、ふれあい診療所1名。それぞれ以前より実績があり、妊婦検診等で子宮がん検診など受診し

やすい環境、料金について奥出雲病院、地元の医療機関の料金とほぼ同じ料金で設定されており、2カ所を指定している。

問 町境に6カ所設置されたデザイン看板の所管は、管理はどのようにしているのか。

答 森長地域振興課長
地域振興課で目視により管理している。これまでに2回の洗浄を行い汚れをとった経緯がある。

問 看板の汚れが非常に目立つが、町執行部はどのように思っているのか。

答 森長地域振興課長
再調査を行い黒ずんでいる部分も多々あり、洗浄が必要な状態であると感じている。

問 設置後5年が経つが、看板により波及効果が期待されていたが効果があったのか。

答 森長地域振興課長
看板というよりもユニメント的なもので、奥出雲町を訪ねられた方に奥出雲町が神話の里である

ることを伝えるイメージアップにつながっていると考えている。

問 看板の台座の塗料が剥けており、町境での奥出雲町としてのイメージアップ看板として、悪い印象を与える現況であるがどう思っているのか。

答 森長地域振興課長
一指摘のとおりと思っている。早急な対応を考

問 設置後5年でこのような状況であるが、この程度の製品なのか。

答 森長地域振興課長
素材はFRPであり、それに吹き付けた塗料が屋外で非常に気温差が激しい地域では4〜5年が耐用年数である。

問 修理復元工事はどのようにするのか。

答 森長地域振興課長
鬼の舌震の岩をイメージしたもの

	H22	H23	計
総 死 亡	260	261	521
悪性新生物	71	70	141
心 疾 患	45	37	82
脳血管性疾患	37	33	70
肺 炎	23	19	42
老 衰	11	19	30
腎 不 全	10	5	15
不慮の事故	4	9	13
自 殺	10	3	13
そ の 他	49	66	115

奥出雲町の死亡原因と人数

ーシの中で伊藤先生が示されたデザインであり、全体を通して先生に相談して、町が修繕工事を行いたい。

問 6月1日に亀嵩と比田との町境の看板を見に行ったが、看板と台座に赤いシールが貼ってあった。その後11日に再度行ったところ、シールはなかったが、これは町の管理のなかで剥がしたのか。

答 森長地域振興課長
職員が再調査に行ったが、それについて取ったという報告は聞いていないので承知していない。